

# 海南病院 熊本地震における被災地医療支援活動(第二報)

## — 当院医師「国境なき医師団」での活動 —

熊本地震における海南病院の被災地支援活動(第一報)を先にお知らせしましたが、当院医師が「国境なき医師団」として被災地緊急医療援助活動を行ってきましましたので、ご報告いたします。

### 「国境なき医師団」での活動

久留宮医師は、平成 16 年から「国境なき医師団」で外科医として活動しています。今回の熊本地震では 4 月 14 日の前震、16 日の本震による発災以来、「国境なき医師団」は医療援助のニーズの有無、活動地域について調査を行い、南阿蘇を中心に活動を開始していました。久留宮医師は、4 月 28 日から一般診療医として熊本県南阿蘇村へ医療活動に行ってきました。現地では JMAT 指導者の指揮下で各チームに分かれて、担当する地域の医療サポートを行いました。当初は 5 月 11 日までの予定でしたが、予想よりも現地の回復が早く、約 1 週間短縮しての派遣でした。

#### 〔活動期間〕

平成 28 年 4 月 28 日～5 月 4 日 (7 日間)

#### 〔派遣要員〕

医師：久留宮 隆 (当院 総合診療科代表部長)



クラスターミーティング



塩崎厚生労働大臣



会議室に寄せられた各施設の現状

海南病院は地域災害拠点病院として、今回の熊本地震における被災地医療支援活動を通じて得られた様々な情報を、今後さらなる災害医療に生かすべく努力してまいります。1 日も早い被災地の復興を祈念いたします。